令和６年度

社会福祉法人 我孫子市社会福祉協議会

事業報告書

（２０２４年4月1日～２０２５年3月３１日）

社 会 福 祉 法 人

我 孫 子 市 社 会 福 祉 協 議 会

1. 法人運営

〔1〕理事会

（第 1 回）

日　　時　令和 6 年 5 月 28 日
場　　所　我孫子市役所　分館中会議室
出席者数　理事 12 名　監事 2 名
議　　題
1）令和 5 年度事業報告の承認について
2）令和 5 年度決算報告の承認について
3）定款の一部改正について
4）福祉サービス利用援助独自事業実施規程の制定について
5）令和 6 年度定時評議員会の開催について

（第 2 回）

日　　時　令和 6 年 11 月 26 日
場　　所　我孫子市役所　分館中会議室
出席者数　理事 12 名　監事 2 名
議　　題
1）令和 6 年度第 1 回補正予算の同意について
2）評議員選任・解任委員の解任及び選任について
3）令和 6 年度第 2 回評議員会の開催について
報　　告
1）令和 6 年度中間事業報告
2）令和 6 年度中間予算執行状況報告
3）令和 6 年度中間監査報告
4）令和 6 年度上半期職務執行状況報告

（第 3 回）

日　　時　令和 7 年 3 月 14 日
場　　所　我孫子市役所分館　大会議室
出席者数　理事 10 名　監事 2 名
議　　題
1）令和 6 年度第 2 回補正予算の同意について
2）令和 7 年度事業計画の同意ついて
3）令和 7 年度予算の同意について
4）あんしん生活支援事業実施要綱の制定及び
　あんしん生活支援事業預託金取扱要綱の制定について

5）共同募金配分委員会設置要綱の制定について
6）評議員選任・解任委員会運営規程の一部改正について
7）令和 6 年度第 3 回評議員会の開催について
8）令和 7 年度役員等賠償責任保険契約の締結について
報　　告
1）令和 6 年度善意銀行運営事業損金処分について

〔2〕評議員会

（定時評議員会）
日　　時　令和 6 年 6 月 19 日
場　　所　我孫子市役所分館　大・中会議室
出席者数　評議員 19 名　監事 2 名
議　　題
1）令和 5 年度事業報告の承認について
2）令和 5 年度決算報告の承認について
3）定款の一部改正について

（第 2 回）
日　　時　令和 6 年 12 月 10 日
場　　所　我孫子市役所分館　大会議室
出席者数　評議員 18 名 監事 1 名
議　　題
1）令和 6 年度第 1 回補正予算の承認について
報　　告
1）令和 6 年度中間事業報告
2）令和 6 年度中間予算執行状況報告
3）令和 6 年度中間監査報告

（第 3 回）
日　　時　令和 7 年 3 月 25 日
場　　所　手賀沼親水広場　水の館研修室　3 階
出席者数　評議員 20 名　監事 1 名
議　　題
1）令和 6 年度第 2 回補正予算の承認について
2）令和 7 年度事業計画の承認について
3）令和 7 年度予算の承認について
4）あんしん生活支援事業実施要綱の制定及び

あんしん生活支援事業預託金取扱要綱の制定について
5) 共同募金配分委員会設置要綱の制定について

〔3〕監査

(第1回)
日　　時　令和6年5月17日
場　　所　我孫子地区障害者まちかど相談室　会議室
出席者数　監事2名
監査事項
1)令和5年度事業執行状況について
2)令和5年度経理状況について

(第2回)
日　　時　令和6年11月12日
場　　所　我孫子地区障害者まちかど相談室　会議室
出席者数　監事2名
監査事項
1)令和6年度中間事業執行状況について
2)令和6年度中間予算執行状況について

〔4〕評議員選任・解任委員会

(第1回)
日　　時　令和6年11月26日
場　　所　我孫子市社会福祉協議会　会議室
出席者数　評議員選任・解任委員5名
議　　題
1)評議員の選任・解任について

〔5〕その他

(1)令和6年4月1日付けで、正規職員1名（眞利子政義）を採用しました。
(2)第6次我孫子市地域福祉活動計画　評価委員会　2回（11/15、3/18）
5カ年計画の中間評価と見直しを行いました。
(3)規程等の整備
・規程等の一部を変更・見直し実施しました。

2. 本年度の主な取り組み

本年度は、第６次我孫子市地域福祉活動計画の３年目（中間見直し）の時期でもあり、市社協・地区社協ともに、これまでの事業を振り返り地域福祉活動計画評価委員会により中間事業報告書をまとめ、計画の一部を見直しました。

また、新規事業「日常生活自立支援事業（独自事業)」の実施や西部福祉センターの閉鎖に伴う業務など関連機関と連携し事業を推進しました。なお、主な取組みとして、以下の個別事業を重点的に実施しました。

（１）湖北台地区社会福祉協議会の事務所の移転

令和６年４月１０日に移転（湖北台１－１２－１９)。湖北・湖北台高齢者なんでも相談室や保健センターにも近く、以前よりも広い事務所スペースを確保しました。

（２）寄付金・寄付物品相談窓口

「税額控除対象法人」になる為の資料作成・申請を行いました。また、引き続き相談窓口機能の周知を図りました。

（３）集いの場コミュニティカフェ事業

新規事業「Café つぼみ（中途失調・難聴者のカフェ)」を令和６年４月からスタート、毎月第２月曜日に開設（延べ 11 回　参加者 133 名)。

（４）日常生活自立支援事業（独自事業）

新規事業として令和６年４月から開始しました。今年度は４件の相談があり、うち２件と契約、それぞれ短期間でしたが福祉サービスを提供しました。

（５）あんしん生活支援事業の検討・実施

周りに支援者がいない高齢者や障がい者が安心して生活できるよう日常的な見守りや入院・入所の支援、死後事務等を行うことを目的に、他の先進的な社協を参考に事業を組み立て、令和７年度に開始できるよう要綱等の整備を行いました。

（６）生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）

コロナ禍での特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）の償還開始が令和５年１月から多くの債務者の償還が始まっています。貸付担当３名で、その方々に対して償還延長・免除の手続き支援や行政機関等へのつなぎ等を支援しました。

3. 個別事業ごとの主な取り組み

１、地区社会福祉協議会活動の推進

(1)地区社会福祉協議会活動推進事業

・4 月 10 日 湖北台地区社会福祉協議会の事務所の移転

①市内 6 地区に拠点となる事務所を設置し、週 5 日事務職員 1 名を配置。

②活動費として、各地区年 80 万円（うち共同募金配分金 30 万円）の助成金を交付。

③コミュニティーソーシャルワーカー(CSW)による相談支援や他機関との連絡調整を行う。

④地区社会福祉協議会連絡協議会

・第 1 回 9 月 30 日　水の館研修室

・生活支援体制整備事業（移動販売）について

・第 6 次我孫子市地域福祉活動計画中間見直しについて

・地区社協委員向け研修会、スマカフェ、スマホ入門教室の紹介

・第 2 回 2 月 20 日　市民プラザホール

・生活支援体制整備事業について

・第 6 次我孫子市地域福祉活動計画中間見直しについて

⑤地区社協研修会

・【電話訪問ボランティア養成講座】　11 月 18 日　水の館研修室

・「電話傾聴の基礎」について　講師：千葉いのちの電話　参加者：28 名

・【千葉県コミュニティソーシャルワーカー育成研修「地域福祉の担い手講座」】

・2 月 20 日（木）市民プラザホール

・講演「支え合い・つながりづくり」「生活者として地域を支える」
演習「私たちがつくる地域の支え合い・助け合い」

・講師：坪井真 氏（作新学院大学女子短期大学部　幼児教育課　教授）

・参加者：36 名

⑥地区社協事務職員連絡会　2 回

第 1 回 7 月 25 日　第 2 回 3 月 6 日

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○令和 5 年 5 月から新型コロナウイルス感染症が 5 類になり、子どもの行事やまつり等が実施できるようになった。賑わいが戻ってきている。 ○千葉県社協「地域福祉フォーラム助成金」を地区社協に紹介・斡旋、令和 5 年度湖北台地区社協で活用され、地域の福祉活動に役立てることができた。 ○委員の高齢化や担い手不足等の課題対応として、令和 6 年度に傾聴講座、コミュニティソーシャルワーカー養成研修を実施した。

(2)各地区社会福祉協議会の活動

【我孫子北地区社会福祉協議会】

■会議の開催状況

1.総会 1 回　　2.役員会 12 回　　3.定例委員会 12 回

4.各部会・委員会

(1)広報調査部会 12 回　　(2)子ども・世代間支援部会 12 回

(3)シニアサポート部会 12 回　(4)イベント実行委員会 12 回

■活動の実施状況

1.根戸エリア福祉懇談会の開催 11/17　根戸近隣センター（参加者 27 名）

2.小学校児童と高齢者の交流会（昔遊び）

・並木小 10/25（参加者 94 名）　・根戸小 11/11 実施（参加者 229 名）

3.中学校生徒の福祉体験授業…久寺家中学校 全生徒

12/2（68 名）、12/3（34 名）、12/4 実施（66 名）

4.並木小学校 2 年生の「歌と遊びの会」サポート 12/12（参加者 106 名）

5.介護教室 1/11 あびこ市民プラザ（参加者 44 名）

6.障害児者関連施設製作品の展示即売会…11/3　北地区社協前（参加 4 団体）

7.電話訪問サービス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
稼動日数	21	21	20	22	21	19	22	19	19	19	18	20	241
利用者数	53	50	52	58	56	48	45	47	53	56	51	59	628
ボランティア数	23	23	22	24	21	20	24	20	19	20	20	22	258
委員数	21	21	20	22	21	20	22	20	19	19	18	20	243

連絡会：奇数月に開催。

8.電話訪問研修会及び懇談会　3 月 14 日　17 名

9.子育て支援活動：子育てサロン「わ」…12 回　延べ参加者 196 名（延べ 101 家族）

「あびこで子育て応援フェスタ 2024」に参加…9/21 アビイクオーレ　参加者 176 名

10.保育園児と地域ボランティアとのふれあい…あびこ菜の花、ぽけっとランドあびこ、アンジェリカ、つくし野、根戸の 5 つの保育園へ「パッチンかえる」122 個を年長児に送った。

11.健康と福祉のつどい　3/2　あびこ市民プラザ（参加者 316 名）※委員含む

12.コミュニティサロン“きた”…月 2 回開催　延べ 24 回

参加者 1,250 名　サポーター数 78 名　委員数 153 名　合計 1,491 名

13.北地区福祉フォーラム…5 回実施　5/29、7/31、8/28、11/27、2/17

14.委員研修会…6 月 14 日（バス研修）参加者 20 名

7 月 7 日（車椅子高齢者疑似体験）参加者 12 名

15.広報紙「あびこ北地区社協だより」3 回発行

NO.75（6/1 号）NO.76（10/1 号）NO.77（2/1 号）各 12,000 部発行

16.サロン・アントレッド…11 回

参加者数 95 名、委員サポーター数 79 名　合計 174 名

17. 終活セミナー 6/29　あびこ市民プラザ　参加者 47 名　委員 11 名

内容：エンディングノート、遺言書を書いてみよう　他

講師：千葉県行政書士会会員（11 名）

18. 福祉教育活動促進事業…5 回

・久寺家中学校　高齢者疑似体験・車イスの体験

・根戸小学校・並木小学校　高齢者疑似体験・認知症サポーター養成講座のサポート

・並木小学校　歌と遊びの会のサポート

19. 千葉県福祉教育推進団体（モデル地区）※令和 4 年～6 年度

・福祉教育推進会議　6 回開催

・久寺家中学校区ボッチャ交流会　1/22(水)　あびこ市民プラザホール　参加者 38 名

【我孫子南地区社会福祉協議会】

■会議の開催状況

1. 総会 1 回　2. 全員協議会 1 回　3. 役員会 12 回

4. 各部会・委員会 ※令和 6 年度に部会制の導入。

(1)総務・広報部会 28 回　(2)高齢者部会 21 回　(3)地域交流部会 27 回

(4)事業部会 22 回

■活動の実施状況

1. 総務・広報部会

(1)我孫子南フレンドネット…3 月 21 日　南地区社協事務所 参加者 6 名

・見守り人数　27 名　フレンドネット委員 6 名

(2)安心安全事業…普通救命講習会　2 月 3 日　アビスタホール　参加者 12 講師・委員 3 名

(3) 広報紙「南地区社協だより」…3 回

NO.75（7 月 24 日）、NO.76（12 月 11 日）、NO.77（3 月 19 日）各 6,500 部発行

(4) スマホ入門講座…11 月 13 日　けやきプラザ　参加者 17 名 講師・委員 12 名

2. 高齢者部会

(1)認知症サポーター養成講座…令和 3 月 4 日　アビスタ調理室　延べ参加者 18 名

(2)介護予防教室…月 2 回実施 延べ参加者 678 名　延べ委員数 137 名

(3)おたのしみ昼食会

・7 月 23 日　アビスタ　参加者 21 名　講師・委員 14 名

・10 月 29 日　アビスタ　参加者 18 名　講師・委員 9 名

・3 月 19 日　アビスタ　参加者 21 名　講師・委員 9 名

(4)電話訪問サービス事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
稼動日数	8	7	8	8	8	7	7	8	8	6	7	9	91
利用者数	12	12	12	13	13	14	14	13	13	12	12	12	152
ボランティア数	8	9	8	7	7	9	7	8	8	7	8	7	78
委員数	5	6	6	5	6	5	6	6	8	6	7	9	75

(5)ぶらり散策…10 月 17 日　参加者 12 名・委員 7 名

(6)出張茶和会

・11 月 20 日　第一小学校地域交流教室　参加者 24 名　講師・委員 11 名

・2 月 17 日　台田地区公文教室　参加者 18 名　講師・委員 10 名

3. 地域交流部会

(1)世代間交流

・7 月 11 日　にこにこ広場交流会　参加者 20 名・委員 2 名

・9 月 12 日　にこにこ広場（地域の方と遊ぼう）参加者（親子）22 組 43 名、委員 11 名

・1 月 16 日　にこにこ広場交流会　参加者 28 名・委員 2 名

・1 月 21 日　我孫子第四小学校高齢者疑似体験 4 年生　生徒 135 名　委員 20 名　社協 3 名

・2 月 28 日　我孫子第四小学校 1 年生生活科授業「昔あそび」生徒 115 名　委員 21 名

(2)地域懇談会…6 月 1 日　我孫子南近隣センター9 階ホール (2 部制 午前・午後で実施)

延べ参加者 48 名　我孫子南まちづくり協議会共催

日頃からの備えとして、防災備蓄とポリ袋クッキングを学んだ。

(3)健康まつり…9 月 20 日　我孫子南近隣センター9 階ホール 延べ参加者 69 名

(4)子育て支援事業 とおんきごう…月 1 回　延べ参加者 270 名　　延べ委員数 108 名

4. 事業部会

(1)障害者福祉施設等の支援　販路協力 (総会・全員協議会・福祉フェスティバル開催時)

(2)高齢者日帰りバス旅行…2 日（6 月 7 日、19 日）　延べ参加者 81 名　延べ委員数 6 名

(3)福祉フェスティバル…1 月 18 日 けやきプラザホール　延べ参加者 430 名

(4)委員研修会…10 月 8 日　参加者 27 名

【天王台地区社会福祉協議会】

■会議開催状況

1.総会 1 回　2.役員会 11 回　3.定例委員会 12 回

4.各部会･委員会

(1)福祉部会 12 回　(2)交流部会 12 回　(3)広報部会 12 回

(4)地域ささえあい推進事務局会議及び打ち合わせ 16 回

(5)地域ふれあいまつり天王台 2025 実行委員会 5 回

■活動の実施状況

1. 天王台地区や学校との交流事業「世代間交流」

・我孫子中 PTA バザー：10/12　応援 21 名／・第三小 PTA バザー：10/19　応援 7 名

・高野山小ふれあい祭り：10/26　応援 15 名

・高野山小 1 年生対象昔の遊び教室：11/22　応援 15 名

・第三小昔遊び教室：11/28　応援 17 名

2. 高齢者との交流事業

-a.ふれあいの集い日帰りバスツアー（南・北地域合同）：6/6　参加者 33 名

「野田市清水公園」

-b.お楽しみ会：11/2　天王台北　参加者 39 名

-c.男性のための料理教室：2/26　天王台北　参加者 9 名　応援 5 名

3. 高齢者のささえあい交流支援事業

第 6 回「巨木を見る」第 2 弾　座学・散策：10/10　参加者 18 名

4. 高齢者の交流の場づくり事業「おしゃべりサロン」

・毎月第 4 月曜日（奇数月）こもれび　5 回：延べ参加者 73 名

5. 子育てサロン事業

(1)のびっ子クラブ　合計 12 回：延べ参加者 355 名

(2)子育て支援センター「かわむらんど」との連携・協力（出張「のびっ子クラブ」）

①7/19　応援 5 名　②12/24　応援 6 名　③2/3　応援 5 名

6. 地域の各団体との連携事業

-a.福祉懇談会の実施：9/29 こもれび　参加者 34 名

-b.まちづくり協議会（天王台北・こもれび)、地域の団体との連携

(1)こもれびフェスタ（こもれびまちづくり協議会）

6/16　福祉バザー&子ども遊び：応援 19 名

(2)天王台北子どもサマーフェスティバル（天王台北まちづくり協議会）

8/10　ゲームコーナー・マジックショー&おもしろふしぎ理科実験：応援 6 名

(3)天王台ふれあい祭り　9/16　子ども遊びコーナー：応援 11 名

(4)天王台地区市民祭り　9/15　子ども遊びコーナー：応援：18 名

-c.我孫子第三地区民生委員児童委員協議会との交流：9/11 天王台北　参加者 36 名

-d.ボランティア団体との交流

ふれあいまつり天王台2025で､市内ボランティア団体の紹介と活動状況を報告。

-e.高齢者なんでも相談室との連携

(1)お元気まんてん教室支援：7回（こもれび3回　天王台北4回）

(2)「RUN伴＋あびこ」に参加支援：11/23　参加者5名

-f.障害者まちかど相談室との連携

相談支援事業所「むつぼし」より毎月地域の実情報告を受け、情報を共有した。

7. 福祉情報の提供と認知度ＵＰ事業

・広報誌「ゆうゆうだより」の発行　4回…4月（88号）8500部/7月（89号）8500部/10月（90号）8000部/１月（91号）8000部

・自治会への広報誌配布体制調査を実施（90号から5自治会への配布方法を変更）

・ポスター・チラシの作成（ごみ出し支援情宣ポスター、ボランティアメッセ等）

・地域ふれあいまつり天王台2025のポスター、チラシを作成

8. 福祉サービスの情報収集と提供事業

・「高齢者のための日常生活困ったときガイド2023年度版」の販売

9. 高齢化に伴う介護予防の推進事業

-a.介護予防教室（シニアいきいき講座／健康体操編・歌声編）

(1)健康体操編：延べ参加者212名　こもれび（6回）・天王台北（2回）

(2)歌声編：　　延べ参加者211名　こもれび（4回）・天王台北（2回）

-b.バランスボール編：延べ参加者78名　こもれび（2回）・天王台北（2回）

-c.認知症サポーター養成講座・一般編(泉自治会共催)　9/15　参加者19名

-d.健康マージャン教室

・6期生東風倶楽部19回　生徒12名

・7期生初心者コース6回　生徒15名

10. 健康で元気な地域づくりの推進事業

-a.健康フェア：(1)11/29　こもれび：参加者55名　応援32名

(2)12/13　天王台北：参加者29名　応援28名

-b.福祉に関する各種講座（健康・栄養・消費生活・詐欺など）

・健康フェア、シニアいきいき講座、お元気まんてん教室等で健康面等に関する講座を開催

11. 学校における福祉教育の推進事業(高齢者なんでも相談室&市社協てとりあ後援)

・10/11 我孫子第二小学校5年生「認知症サポーター養成講座」：参加者68名　応援5名

・11/11 我孫子第二小学校4年生「高齢者疑似体験」：参加者70名　応援20名

・11/21 我孫子第三小学校5年生「認知症サポーター養成講座」：参加者130名　応援6名

・1/23　我孫子第三小学校4年生「高齢者疑似体験」：参加者99名　応援26名

・1/28　高野山小学校4年生「高齢者疑似体験」：参加者84名　応援22名

・2/4　　高野山小学校5年生「認知症サポーター養成講座」：参加者87名　応援7名

12. 高齢者の見守り事業

-a. 電話訪問サービスの推進

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
稼働日数	12	14	12	13	11	10	9	8	5	4	4	4	106
利用者数	24	28	24	30	25	19	17	16	11	12	12	11	229
ボランティア数	19	18	19	19	16	11	11	11	10	10	8	9	161
委員数	3	6	4	6	4	5	3	3	1	1	2	2	40

・電話訪問月例会（毎月 1 回開催）：8 回（4/18・5/16・6/20・7/18・9/19・10/17・12/19・1/16）※9 月は、電話ボランティアの勉強会・交流会を実施　参加者 19 名

・傾聴ボランティア養成講座（「電話傾聴の基礎」市社協主催）
11/18：水の館研修室　参加委員 2 名

-b. 身近な見守り活動の推進

・エンリッチの「LINE を活用した見守りサービス」利用状況の情報収集

13. 子供の見守り事業：市社協事業のたすけあいバンク等への食材支援と広報協力

14. 生活課題の周知と生活支援活動の推進事業（地域ささえあい活動）

・高齢者地域ささえあい活動「ゴミ出し支援」事業を実施
利用会員登録（実行）：12 名　・協力会員登録：24 名

15. 寄付、募金運動の推進事業

・「赤い羽根共同募金」「大規模災害義援金」「たすけあいバンク」等市社協に協力

16. 障がい者及び福祉施設等の支援事業

・地域ふれあいまつり天王台 2025 にて福祉事業所の手作り品販売コーナーを設置

17. 地域の福祉人材の育成事業「地域ふれあいまつり天王台」「協力ボランティアの養成」

・地域ふれあいまつり天王台 2025：3/24 こもれび　参加者 549 名

・協力ボランティア：登録者数 39 名

18. ボランティア・市民活動の情報提供事業

・広報紙「ゆうゆうだより」で社会貢献活動や地域自治会組織、地域ボランティア団体の情報を提供した（高野山小学校・我孫子の景観を育てる会・就労継続支援 B 型すまいる）

19. あんしんカード推進事業

・あんしんカードの更新および地域住民からの問い合わせに随時対応し、推進した

20. 安心・安全な地域づくり事業

-a. 地域の安心・安全マップ作りの推進…2014 年度から開始した地域の安心・安全マップの調査・作成が、2024 年度をもって全区域終了し完成。

-b. 災害時要援護者等、地域の中での見守り活動の推進：未実施

21. 委員研修の実施と能力開発：9/6（北総育成園視察）参加者 19 名

〔その他事業〕

・活動室貸出事業：延べ 225 回
地区社協役員会等（82 回）地区社協電話訪問（106 回）利用団体　4 団体（37 回）

・天王台（南・北）地区地域会議に委員として参画

【湖北台地区社会福祉協議会】 ※令和6年4月10日に移転（湖北台１－１２－１９）。

■会議の開催状況

1. 総会1回　　2. 役員会12回　　3. 定例委員会10回

4. 各部会・委員会

(1)福祉ネットワーク推進委員会2回　　(2)電話訪問運営委員会1回

(3)子ども委員会 9回　　(4)企画委員会 7回

(5)総務委員会 1回　　(6)福祉バザー実行委員会13回

(7)敬老お楽しみ会実行委員会8回　　(8)健康まつり実行委員会 3回

(9)鯉のぼりまつり実行委員会6回

■活動の実施状況

1. 見守りネットワーク推進事業

・見守り活動について地域状況の把握に努め「日常的に、周りから、それとなく」を基本に「マンツーマンの見守り体制づくり」の意義及び手法についての情報交換を行い、最低限の事業継続活動を実施。

・各見守り組織への活動助成金　７団体交付。

2. 電話訪問サービス事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
稼動日数	6	12	12	13	10	11	12	12	12	11	11	13	135
利用者数	51	97	102	107	82	86	95	87	79	71	72	80	1009
ボランティア数	38	83	79	86	67	70	84	71	68	60	51	62	819
委員数	13	14	23	21	15	16	11	16	11	11	21	18	190

3. 子育て応援事業…「すまいる広場」での活動　2回（6月21日、2月17日）
　０～３歳児と保護者を対象に、絵本の読み聞かせ・折り紙制作や歌の活動を実施。

4. 児童福祉事業…小学校に授業に参加　2回
　9月20日　西小学校「1年生・生活科の学習」
　11月13日　東小学校「１、２年生・体験学習」に参加。
　それぞれ「昔遊び」などを通じて世代間交流を実施。

5. 介護予防教室（高齢者なんでも相談室　共催）
　転ばないための体操教室　1月24日　40名参加

6. 一般向け認知症サポーター養成講座　　9月7日　45名参加

7. 台中向け「認知症サポーター養成講座」　11月12日　3年生86名参加

8. 小学生向け「ジュニア認知症サポーター養成講座」2回
　5月31日　湖北台西小学校　参加者42名
　5月29日　湖北台東小学校　参加者34名

9. 災害対策事業…本年度中止

10. 第 21 回湖北台福祉バザー
6 月 29 日　湖北台近隣センター　来場者数 約 300 名
11. 第 21 回敬老お楽しみ会（湖北台地区民生委員児童委員協議会　共催）
10 月 3 日　湖北台東小学校　参加者数 166 名
12. 第 24 回健康まつり　11 月 30 日　湖北台中学校
参加者数　40 名　ボランティア（中学生）23 名
13. 鯉のぼりまつり（4 団体共催事業）　5 月 5 日　湖北台中央公園
14. 新春の集い　2 月 7 日　湖北台近隣センター　43 名参加
15. 委員研修会：バス研修会（企画委員会）　10 月 29 日　26 名参加
16. 「こほく台地区社協だより」　2 回
第 81 号 4 月、第 82 号 11 月　毎号 5,500 部発行
17. スマホ教室　7 月 4 日　湖北台近隣センター　20 名参加
12 月 5 日　湖北台近隣センター　24 名参加

【湖北･新木地区社会福祉協議会】

■会議の開催状況

1. 総会 1 回　　2. 役員会 13 回　　3. 定例委員会 13 回
4. 各部会・委員会
(1) 部会別会議　12 回（定例会後及び随時）
(2) こほく・あらき福祉まつり実行委員会　3 回

■活動の実施状況

1. こほく・あらき福祉まつり　10 月 12 日　湖北地区公民館　参加者 530 名
ポスターコンクール全作品展示と表彰式、バザー、わたあめ販売、湖北小・新木小・湖北中吹奏楽演奏、高齢者なんでも相談室の紹介、福祉事業所物品販売、和太鼓披露、地域福祉団体・新木まち協・まつり参加学校の活動パネル紹介と作品展示、ハロウィンカード作り体験、人権相談や啓発活動など。
2. 地域福祉推進事業
2025 新春地域お楽しみ会　2 月 9 日
湖北地区公民館ホール　参加者延べ 600 名　　チャリティ寄席、近隣地域の 5 団体が参加
3. 福祉教育推進事業　世代間交流事業
・6 月 30 日　元気フェスタ　昔あそびブースを出展
・7 月 20 日　こどもバランスボール教室　コホミン　（参加者 14 名）
・10 月 18 日　湖北小フェスティバル　昔あそびブースを出展
4. 福祉教育推進事業　福祉教育推進員会議の実施　5 回　参加者延べ 113 名
5 月 7 日、7 月 16 日、9 月 17 日、11 月 19 日、1 月 14 日
5. 高齢者見守り事業　一人暮らし高齢者日帰りバス旅行
6 月 17 日、6 月 18 日（参加者延べ 94 名）

東京スカイツリー、豊洲市場「千客万来」見学・買い物等

6. こほく・あらき健康まつり

・9 月 29 日 あらき近隣センター　（参加者延べ 75 名）

・3 月 4 日　社協事務所前スペース　（参加者延べ 55 名）

健康講座、体力測定、血管年齢測定、脳内元気度測定、健康アドバイス、健康相談を実施。参加者にオリジナルクリアファイルを進呈。

7. 子育て支援事業　おやっこルーム

毎月第 2 木曜日　新木近隣センターにて開催 11 回、（参加者延べ 250 名）

8. 高齢者見守り事業　いきいき塾　あらき体操教室　12 回実施（参加者延べ 180 名）

9. 高齢者見守り事業　いきいき塾　バランスボール体操教室

9 月 26 日、10 月 29 日、1 月 28 日、3 月 27 日　計 4 回実施（参加者延べ 88 名）

10. 高齢者見守り事業　傾聴活動　おしゃべりサロン

毎月第 4 水曜日　計 12 回実施（参加者延べ 167 名）

11. ほくほく健康教室　毎月第 4 水曜日　計 12 回実施（参加者延べ 171 名）

12. 健康マージャン教室・点数計算教室　第 1・3 金曜日　計 16 回（参加者延べ 311 名）

13. 「こほく・あらき地区社協だより」　3 回

80 号（5 月）、81 号（10 月）、82 号（2 月）発行　毎号 6,600 部配布

14. 福祉教育推進事業

・認知症サポーター養成講座

湖北小学校	6 年生	6/13	受講者 68 名	委員 2 名
新木小学校	6 年生	9/17	受講者 57 名	委員 2 名
我孫子東高校	1 年生	11/11	受講者 152 名	委員 7 名
湖北中学校	3 年生	12/16	受講者 87 名	委員 3 名
湖北特別支援学校	1 年生	9/6	受講者 17 名	委員 1 名

・高齢者疑似体験

湖北小学校	5 年生	11/6	受講者 37 名	委員 11 名
新木小学校	5 年生	9/18	受講者 55 名	委員 15 名
湖北特別支援学校	1 年生	9/6	受講者 17 名	委員 1 名

15. 委員研修

委員研修　2 月 17 日　こころみ学園　他

参加者延べ 22 名

16. その他協力事業・共催事業

1. らくらく健康体操（新木まちづくり協議会）…6 回　参加者延べ　125 名

2. 湖北地区ふれあいサロンへの支援…毎月第 3 金曜日

計 10 回実施（委員延べ 20 名参加）

3. 新木ふれあいサロンへの支援…毎月第 2 水曜日

計 10 回実施（委員延べ 20 名参加）

4. 「ふれあい弁当の会」カード班への支援…毎月第 1・2 金曜日　計 20 回実施

5.「折り紙サークル」への支援…毎月第3水曜日　計12回実施
6.こほく・あらき福祉まつりにおける「我孫子市人権擁護委員」への支援
7.コピー機、印刷機、ラミネートのサービス…計90回

【布佐地区社会福祉協議会】

■会議の開催状況

1.定期総会1回　　2.役員・部長会12回　　3.定例委員会11回
4.各部会・委員会
(1)広報部会11回　　(2)ボランティア部4回　　(3)シルバー部2回
(4)自立支援部3回　　(5)ゴールド部会6回

■活動の実施状況

1. チェアヨガ教室
毎月第1・第3金曜日（月2回・午前・午後の2コース）
上町自治会館　参加者：総計466名
4月66名　5月31名　6月49名　7月34名　8月31名　9月66名　10月64名
11月31名　12月34名　1月27名　2月65名　3月52名

2.スマホ何でも相談会
毎月第3水曜日10：00～16：00
近隣センターふさの風　第3会議室　参加者：総計158名
4月6名　5月16名　6月26名　7月16名　8月12名　9月14名
10月6名　11月12名　12月4名　1月14名　2月3名　3月9名

3. 第24期・25期　健康マージャン教室　毎週木曜日　13：00～16：00
近隣センターふさの風
参加者：26名　　7月から23名　　1月から25名　講師：6名

4.防犯・詐欺予防講習会　日時：6月19日（水）13：30～15：00　参加者35名
近隣センターふさの風　第1会議室　講師：警察・消費生活センター

5.布佐中学校　家庭科　着付け教室　2回（7月10日（水）・11日（木））
布佐中学校（2年生・家庭科の授業に協力）
講師：布佐在住の日本着物着付け協会の教師　委員各11名

6.ふさの風文化祭　10月5日（土）・6日（日）
内容：手賀沼カレンダー販売、赤い羽根募金、施設の物品販売…委員各5名

7.合同防災訓練　10月6日（日）　布佐中学校体育館　参加者3名

8.布佐中学校生徒とぐるんぱ（未就学児親子）の交流授業　10月7日（月）
布佐中学校（2年生・家庭科の授業に協力）　内容：家庭科の保育に関する授業
委員4名

9.布佐南近隣センター文化祭　10月12日（土）/13日（日）/20日（日）
手賀沼カレンダー販売、赤い羽根募金、施設の物品販売　　委員3名

10. 布佐小学校バザー　10 月 12 日（土）　布佐小学校　委員 10 名
11. 布佐中学校調理実習サポート　12 回　布佐中学校　調理室
12. 高齢者疑似体験サポート　1 月 29 日　布佐中学校　体育館　委員 13 名
13. 理科実験教室　2 月 1 日（土）　布佐南近隣センター　会議室
講師：筑波大学　小林准教授＆助手 2 名
参加者：児童 25 名　保護者 21 名　委員・ボランティア：19 名（内委員 9 名）
布佐子ども学習室＆青少年相談員布佐支部との共催
14. 社協まつり　3 月 22 日（土）　布佐南近隣センター　参加者数 200 名
テーマ：健康…舞台：平和台病院リハビリ医師による講演、チェアヨガ
アンサンブル・ルミエール、大和囃子
会議室：ホケンシさんの血圧測定＆健康相談、ジェルネイル
福祉施設物品販売：焼きそば、椎茸、パン、チョコレート、野菜
コーヒー無料配布
15. 広報紙発行　3 回
第 82 号 6/16　3,500 部　第 83 号 10/13　3,000 部 84 号 2/9　3,000 部
16. 委員研修　1 月 22 日（水）（埼玉県）参加者：34 名
17. さつきの会の支援　（高齢者のふれあいサロン）　11 回
近隣センターふさの風　毎月第２火曜日　9：30～11：30　参加者延べ 361 名
18. 平和台シニアサロン”かえで”の支援（高齢者のふれあいサロン）11 回
布佐南近隣センター　毎月第４火曜日　10：00～11：30　延べ参加者 334 名
19. 布佐夜市　ふさ商興会に協賛　5 月 25 日（土）
20. 星空ウオッチング　8 月 9 日（金）18：30～　布佐小学校体育館＆校庭
講師：東葛星見隊　参加者：136 名
青少年相談員連絡協議会布佐支部・ふさ子ども学習室と共催
21. 布佐歩記行　9 月 25 日（水）　参加者 34 名
22. 手作りうどん教室　2 月 22 日（土）　布佐南近隣センター
参加者：15 名　委員：10 名

2、ボランティア・市民活動の推進

(1)ボランティア市民活動相談窓口　て･と･り･あ

①コピー機利用件数　287 件

②会議スペース利用件数　159 件（601 名）

上記の他、イベント等掲示コーナー、ボランティア募集の掲示、紙折り機、ラミネーターの貸出､各種広報紙の設置､ボランティア関連図書の貸出､ミニ講座の開催など。

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○コピー機の利用件数、会議スペース利用件数ともに減少している。ネット印刷の影響が多いと思われる。 ■印刷機（コピー）利用件数　令和 5 年度目標値 400 件　　実績 362 件 ■会議スペース利用件数　　令和 5 年度目標値 200 件/650 名　実績 170 件/459 件

(2)ボランティア･市民活動コーディネート事業

①受付件数：延べ 235 件

・ボランティア・市民活動相談件数：64 件

・ボランティア派遣依頼：101 件

・その他お問合せ：70 件

②ボランティア・市民活動登録数　延べ 10,492 名

・個人ボランティア登録：233 名

・ボランティア保険のみの登録者数：251 名

・災害ボランティア保険登録者数：70 名

・ボランティア・市民活動団体登録：231 団体（9,583 名）

・介護保険ボランティアポイント制度登録者：335 名

・スマホサポーター登録者数：15 名

・福祉教育サポーター登録者数：5 名

③「らっく楽！あびこ」推進委員会への参画

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○令和 4 年度に、個人ボランティア登録者の現状を確認し、実働がなく継続の意思もない方については登録を削除した。そのため大幅に登録者が減少している。 ○今までは 70 歳代～80 歳代の方が多くボランティア登録されていたが、近年は高校生や大学生の登録が増え、若年層の方々にも活躍していただいている。

(3)介護保険ボランティアポイント制度(市委託事業)

①介護保険ボランティア登録者　335 名

②受入施設（登録施設）　89 施設　※コロナ禍後より受入中止　23 施設

③延べ活動者数　3,164 名　延べスタンプ数　5,742 個

④新規登録説明会＆ボランティア交流会　3 回

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○民生委員・児童委員への普及啓発、定年退職者へボランティア活動啓発講座の実施をすることで、地域における認知度を上げることができた。 ○コロナ禍後、受入施設でボランティア受入を中止している施設が多く、活動先が少ない。また、ボランティアの高齢化による辞退者も増えている。

(4)ボランティア育成事業

①福祉体験＆ボランティア体験「にじプログラム」7 月 15 日～9 月 30 日

- 延べ参加者数　244 名
- 延べ開催回数　87 回
  - オリエンテーション開催回数（ZOOM、個別対応含む）14 回
  - ボランティア体験先　43 カ所
  - 福祉体験先　3 カ所
  - 小学生向け体験プログラム　6 カ所

②てとりあ学習サポート（夏休み期間中 10 日間実施）

- 延べ参加者（小学生）数　48 名
- 延べボランティア数　　14 名

③福祉体験＆ボランティア体験～大人版～「にじプログラム」10 月 31 日～12 月 27 日

- 延べ参加者数　33 名
- 延べ開催回数　13 回
  - オリエンテーション開催回数（個別対応含む）　3 回
  - ボランティア体験先　28 カ所
  - 福祉体験先　　2 カ所
  - 福祉教育サポーター養成講座　1 回

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○「にじプログラム」を通じて、より多くの方にボランティア活動に対する意識づけをすることができた。 ○令和 5 年度にスマホサポーターを養成し、依頼のあった自治会やスマカフェ等に派遣することができた。 ○ボランティア活動へのハードルが高いと感じている人が多い様子、そのハードルを下げられるような説明や紹介をするよう努めた。

(5)各種ボランティア保険の受付

①個人ボランティア保険　574 件
②ふれあいサロン活動傷害保険　15 団体
③地区社協活動傷害保険　4 団体
④ボランティア行事用保険　30 件
⑤社協行事傷害補償　38 件
⑥送迎サービス保険　4 件
⑦福祉サービス総合補償　1 件

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○令和 6 年度に新しくパンフレットを作成して関係機関へ配布し、周知を図った。 ○これまでどうり、個人ボランティア、災害支援ボランティアについては、個人負担金は無しで対応した。 ○取扱いの窓口を一本化（てとりあに集約）し、手続きをスムーズにした。

(6)ボランティア・市民活動情報提供事業

①てとりあホームページ　閲覧回数 9,852 件
②広報紙てとりあ　年 4 回　各 8,500 部
③メールマガジン「ボランシカメール」：登録者 286 名
④てとりあＬＩＮＥ公式アカウント：登録者 286 名
⑤フェイスブック：フォロワー数 115 名　投稿回数 50 回
⑥インスタグラム：フォロワー数 211 名　投稿回数 50 回

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○X（旧 Twitter）は、災害時にフォロワーに情報を配信するツールになっている。 ○SNS でボランティア募集を周知したが、その配信を見て来所された方もいた。

３、地域福祉活動の推進

（1)生活支援体制整備事業(市委託事業)

・担当者会議　5 回
・相談対応件数　71 件
・地域包括ケア会議への参加　12 回
・湖北台団地ミーティングへの参加　2 回
・高齢者のための日常生活困ったときガイド
　・掲載要領作成、情報の修正、ホームページの管理など。
・スマホ教室の開催　※詳細は、「集いの場コミュニティーカフェ事業」参照
・移動スーパーの停車場所の調整、現場状況確認　他

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○令和 5 年度からスマホを利用した社会に移行しつつある現状で、高齢者向けにスマホ教室を実施した。ほぼ毎回定員になるほど盛況であった。 ○買い物難民問題に応えるべく、移動スーパーが市との協定のもと令和 3 年度にカスミ、令和 6 年度にウエルシアとヤックスが移動販売を開始し、その事業の支援を行っている。

①我孫子市高齢者地域ささえあい会議(第 1 層協議体)

・第 1 回会議　7/1　　市役所分館中会議室
　・『高齢者のための日常生活困ったときガイド』に関する掲載要領及び同意書について
　・移動スーパーについての状況報告
　・グループワーク『高齢者が楽しめる場の情報まとめ』作成について
・第 2 回会議　10/8　水の館
　・『高齢者のための日常生活困ったときガイド』について報告
　・移動販売の状況について（カスミ・ヤックス・ウエルシア）
　・グループワーク『高齢者の楽しめる場の情報まとめ』
・第 3 回会議　1/30　我孫子市民プラザ
　・委嘱式・委員自己紹介・委員長副委員長選任
　・生活支援体制整備事業　事業説明
　・グループワーク『高齢者の楽しめる場の一覧・移動販売の活用について』

②我孫子市高齢者地域ささえあい活動(第 2 層協議体)

活動費として、各地区年 10 万円の助成金を交付（5 月)。

【我孫子北地区社会福祉協議会】

①見守り活動
　・サロン“アントレット„ 延べ 11 回　延べ利用者 95 名、延べ委員 79 名
　・見守り LINE ネットワーク活動　協力者 51 名
　・電話訪問サービス　平日（月～金）延べ 241 回　利用者 10 名　ボランティア 14 名

②高齢者支援講座・研修会の実施
・終活セミナー…6/29　参加人数 47 名　委員 11 名
・コミュニティサロン“きた”　延べ参加者数 1,491 名
・介護教室　1/11(土)　参加者 44 名　委員 10 名
・電話訪問傾聴ボランティア研修会　11/18　ボランティア 5 名　委員 2 名
・電話訪問ボランティア懇談会　3/14　参加名 20 名

【我孫子南地区社会福祉協議会】
①フレンドネット委員会　見守り人数　27 名　フレンドネット委員 6 名
・会議　3 月 21 日　南地区社協事務所　参加者 6 名
②電話訪問…延べ 91 回実施・延べ利用者数 152 名　延べボランティア数 78 名
③地域懇談会（我孫子南まちづくり協議会共催）　延べ参加者数 48 名
④介護予防教室　月 2 回実施　延べ利用者数 678 名　延べボランティア数 137 名
⑤ぶらり散策　10 月 17 日　参加者 8 名　スタッフ 8 名（ガイド含む）
⑥おたのしみ昼食会　3 回　延べ参加 70 名　スタッフ 23 名

【天王台地区社会福祉協議会】
①地域ささえあい推進事務局会議及び打合せ：16 回
②「巨木を見る第 2 弾　座学と散策」1 回実施　参加者 18 名
③・「シニアいきいき講座―健康体操編」：延べ参加者 212 名
・「シニアいきいき講座―歌声編」：延べ参加者 203 名
・「いきいき講座ーバランスボール編」：延べ参加者 78 名
④高齢者地域ささえあい活動「ごみ出し支援」　利用者：12 名　協力会員：24 名
⑤「自治会長・区長と地域福祉関係者との懇談会」9 月 29 日　参加者：34 名
⑥「第三地区民生委員児童委員協議会との交流会」9 月 11 日　参加者：36 名

【湖北台地区社会福祉協議会】
①見守りネットワーク推進事業
・見守り活動について地域状況の把握と情報交換を行い、最低限の事業継続活動を実施
・各見守り組織への活動助成金　7 団体交付
・スマホ教室　2 回 延べ参加者数 44 名
②電話訪問サービス事業　週 3 回延べ 135 回開催
③子育て応援事業　すまいる広場での活動　2 回（6 月 21 日、11 月 13 日）

【湖北･新木地区社会福祉協議会】
①いきいき塾　健康マージャン教室(16 回　参加者延べ 311 名)
点数計算教室の実施　23 回（参加者延べ　346 名）
②いきいき塾　ほくほく健康教室の実施　12 回（参加者延べ 171 名）

③いきいき塾　あらき体操教室の実施　12 回（参加者延べ 180 名）
④いきいき塾　バランスボール体操教室の実施　4 回（参加者延べ 88 名）
⑤おしゃべりサロンの実施　12 回（参加者延べ 167 名）

【布佐地区社会福祉協議会】
①スマホ何でも相談会　毎月第 3 水曜日　12 回実施　利用者 158 名
②チェアヨガ教室　2 コース（毎月 2 回）　参加者総数 542 名
③健康マージャン教室　毎週木曜日　各回参加者 25 名程
④ふれあいサロンかえでの支援　毎月第４火曜日実施
⑤さつきの会の支援　毎月第２火曜日実施

(2)ささえあい活動推進事業
・立上げ支援件数　1 件（こどもしょくどうネコ）
・「ささえあい活動推進助成金及びボランティア保険」に関する説明会を開催した。
・ふれあいサロン立ち上げ支援マニュアルの周知（関係機関に配布）

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○令和 5 年度にふれあいサロン立ち上げマニュアルを作成し、ホームページに掲載することで、興味がある方がいつでも閲覧できるようにした。 ○精神疾患をお持ちの方を対象としたサロンを 1 団体、子ども食堂を 4 団体の立ち上げを支援した。

(3)自治会活動推進事業
①自治会活動情報提供…4 回
4 月：災害時に役立つ情報「非常用浄水器（RO 逆浸透膜)」の紹介
7 月：災害時に役立つ情報「超・長期保存可能なフリーズドライ備蓄食」の紹介
10 月：ビジネス LINE「LINEWORKS」の活用について紹介
1 月:防犯パトロール(わんわんパトロール、各種イベントとのコラボレーション等)について紹介
②自治会アンケート実施（10 月）
内容：自治会員への連絡手段（電子回覧板の活用）役員の連絡手段、自治会退会者を減らす工夫・対策について
回答：119 自治会／152 自治会
③社協自治会説明会　7 月 18 日～22 日　市内 5 カ所　参加自治会 55 団体
④我孫子市社会福祉協議会 団体会員防災講習会
・8 月 29 日　参加者：自治会役員 41 名　その他 16 名　合計 57 名
・タイトル「大地震に備えたい！防災対策講座～過去の災害に学ぶ」

第6次地域福祉活動計画（R4年度～R8年度)の進捗状況　〔3年度目〕
○自治会活動情報誌に掲載した災害時に役立つ情報や「ICT」の導入等についての問合せが10件程度あり、自治会が防災備蓄や「ICT」の導入に関心が高いことが分かった。 ○実施が遅れていた研修会を実施することができた。 ○コロナ禍後始めて、令和6年7月に3日間（5会場）で社協説明会を実施、総数で55自治会の参加があり、社協や共同募金運動について説明・周知した。

(4)福祉施設支援事業

地域行事の立ち上げ支援、各種団体の調整役を担いました。

・「地域とつながるマルシェinあびこ」（市社協：後援）

11月23日、ウエルシア我孫子新木駅前店

第6次地域福祉活動計画（R4年度～R8年度)の進捗状況　〔3年度目〕
○福祉施設や企業と地域住民の交流の場をつくることができた。

(5)地域福祉活動団体助成金交付事業

市内の14団体（406,500円）に助成をしました。

①ボランティア・市民活動団体活動助成	8団体	279,000円
②ボランティア・市民活動団体備品購入助成	1団体	30,000円
③ささえあい活動推進助成	6団体	97,500円

※②と③重複団体あり

第6次地域福祉活動計画（R4年度～R8年度)の進捗状況　〔3年度目〕
○令和4年度に要綱を整備し一般公募で募集、幅広く助成交付ができるよう仕組みを変えた。 ○令和7年度から一般公募（助成金）の審査機関を設置すべく、他の担当と協働して整備を図った。※令和7年度より審査機関である「共同募金配分委員会」を設置。

(6)健康･介護予防活動支援事業

講師派遣　延べ48回

①我孫子南地区社協「介護予防教室」	講師 20回
②我孫子北地区社協「北サロン」	講師 24回
③天王台地区社協　「健康まつり」	講師　2回
④我孫子市長寿大学	講師　1回
⑤我孫子北地区社協「健康と福祉の集い」	講師　1回

第6次地域福祉活動計画（R4年度～R8年度）の進捗状況　〔3年度目〕
○派遣先のいずれもが参加者が増えている。ニーズが増加している様子。 （令和5年度より職員２名体制で派遣） ○コロナ禍後も他の教室が閉講したままの所があり、参加者が流れている様子。

(7)福祉行事備品貸出事業

・車イス　16件（120台）　・プロジェクター　23件　・スクリーン　17件
・ワイヤレスアンプ　5件　・テント　4件　・肺活量計　11件
・体組成計　8件　・握力計　10件　・身長計　5件
・血管年齢計　11件　・脳内元気度測定器　9件　・スロープ　1件
・骨ウェーブ　33件　・非接触型体温計　0件　・ドラムリール　1件
・発電機　3件　・DVDプレイヤー　0件　・テーブル　5件
・ビブス　5件
・高齢者疑似体験セット　16件（延べ貸出　特大0セット、大60セット、小51セット）

第6次地域福祉活動計画（R4年度～R8年度）の進捗状況　〔3年度目〕
○令和5年度に、高齢者疑似体験セットの一部を新しく購入。 ○高齢者疑似体験セットの貸出が増加し、小中学生の福祉教育に寄与できた。 ○測定機器の不具合が多かった。機器の老朽化が考え、対応する必要がある。 ○自治会にパンフレットを配布したことで、利用も増え地域の認知度も上がった。

(8)我孫子市民生委員児童委員協議会(市委託事業)

①役員会5回　②地区定例会（7地区）合計81回
③共同募金配分金より助成金15万円の支援

第6次地域福祉活動計画（R4年度～R8年度）の進捗状況　〔3年度目〕
○役員会や部会、各地区民児協の組織運営、民生委員・児童委員に対して、相談・支援を行った。今後、さらに負担が軽減できるよう支援していきたい。 ○たすけあいバンクの集荷・配布、貸付相談や歳末たすけあい運動等、地域の生活世帯等の支援を民生委員・児童委員と連携して行うことができた。

(9)我孫子市遺族会(市委託事業)

①会員数121名　②役員会　2回
③靖国神社参拝事業　3月27日（参加者27名）
④その他（護国神社参拝、追悼式への参加、お供物配布、会員募集など）

第6次地域福祉活動計画（R4年度～R8年度）の進捗状況　〔3年度目〕
○高齢化による会員の減少、役員の訪問による年会費の徴収が課題である。 ○令和5年・6年と続けて「広報あびこ」で会員募集を掲載したが、会員増にはつながらなかった。しかし、遺族会のPRにはなったと思う。

４、子どもの成長支援事業

(1)福祉教育推進事業

①小中学校、高校での福祉教育コーディネート　13 校　延べ参加者数 1,402 名

- 湖北台西小学校（高齢者疑似体験）　6 年生　47 名
- 湖北台東小学校（高齢者疑似体験）　6 年生　41 名
- 新木小学校（高齢者疑似体験）　5 年生　59 名
- 並木小学校（高齢者疑似体験）　5 年生　54 名
- 並木小学校（高齢者疑似体験）　6 年生　54 名
- 並木小学校（ガイドヘルプ体験）　4 年生　52 名
- 根戸小学校（車イス体験）　3 年生　115 名
- 湖北小学校（高齢者疑似体験）　5 年生　43 名
- 我孫子第二小学校（高齢者疑似体験）　4 年生　70 名
- 我孫子第三小学校（高齢者疑似体験）　4 年生　99 名
- 並木小学校（車イス体験）　3 年生　53 名
- 我孫子第四小学校（高齢者疑似体験・車イス体験）　4 年生　135 名
- 高野山小学校（高齢者疑似体験）　4 年生　84 名
- 根戸小学校（高齢者疑似体験）　6 年生　128 名
- 根戸小学校（点字体験）　4 年生　120 名
- 久寺家中学校（車イス体験）　1 年生　165 名
- 布佐中学校（高齢者疑似体験・車イス体験）3 年生　67 名
- 湖北特別支援学校（高齢者疑似体験）　1 年生　16 名

②出前講座　5 件　参加者数 73 名

- 中央学院大学（講義と車イス体験）　7 名
- 中央学院大学（講義）　30 名
- さわやか県民プラザ（視覚障がい＆ガイドヘルプ体験）　110 名
- 「あびこ 03」（高齢者疑似体験、車イス体験）
- 我孫子北地区社会福祉協議会（高齢者疑似体験・車イス体験）　12 名
- 久寺家 6 自治会合同防災訓練（車イス体験）　24 名
- 川村学園女子大学（講義と視覚障がい者＆ガイドヘルプ体験）　6 名

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○地区社協の協力もあり、福祉教育実施校や出前講座の依頼が大幅に増え、コロナ禍前よりも件数が増えた。 ○地域の子供たちに、高齢者や障がい者、病気やけがをしている方への理解を深めることができた。 ○知的障がいのある方への接し方についての講座や認知症サポーター養成講座を含めると、すべての市内の小中学校で福祉教育を実施することができた。

(2)制服バンク事業

①寄付者数　　92 名　　②寄付物品の点数　652 点
③譲渡した世帯　144 世帯　　④譲渡物品の点数　704 点
⑤譲渡会の開催　2 回　(8/20～8/30、12/3～12/11)
・制服等の保管場所を布佐小学校の空き教室から湖北台市民センターに引っ越した。

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○生活保護受給世帯および児童扶養手当受給世帯、就学援助対象世帯の心情面に配慮し、対象要件を撤廃したことで目標数値をはるかに上回る譲渡件数となった。 ○教育機関や地区社協、民生委員等へチラシの配布等ＰＲすることで、広く市内に周知でき、学校や行政からも多くの寄付、譲渡依頼の問い合わせをいただいた。 ○直接利用者と接する機会が多く、「助かる」、「ありがとう」等の声をいただいた。

(3)我孫子市子ども食堂ネットワークの支援

事務局として支援しました。
①加盟団体会員数　12 団体　設置カ所数　8 カ所（うち活動休止 1 カ所）
②ネットワーク会議　6 回
③無料共通回数券の配布　　1 回（560 枚）

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○令和 5 年度に、ボランティア育成事業で「子ども食堂立ち上げ講座」を開催したが、立ち上げまでに至らなかった。

(4)我孫子市子どもの学習支援ネットワークの支援

事務局として支援しました。
①加盟団体会員数　11 団体（1 団体増）　設置カ所数　15 カ所
②ネットワーク会議　6 回
③ネットワーク学習会　4 回
④講演会「子どもは何から・誰から学ぶのか～大人(親＆教師など)はどう関われればいいの？」　3 月 22 日　我孫子南近隣センター　参加者　84 名

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○研修会を実施したところ、地域に学習支援について興味をお持ちの方がいらっしゃることがわかり、その方たちの教室立ち上げの支援を行った。 ○複数の教室を展開する団体の新たな教室の立ち上げに支援を行った。 ○当初は塾に通うことができない困窮世帯を対象としていたため趣旨が違ってしまうが、自身の居場所として教室を利用する方もいた。

５、寄付文化の推進

(1)寄付金･寄付物品相談窓口

①寄付金の件数　　105 件　寄付金額　2,846,702 円
　（うち特定寄付　　14 件　寄付金額　　322,000 円）
②寄付物品（切手等）の件数　3 件
③相談・仲介件数　7 件

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○令和 5 年度に寄付金取扱規程を整備したことにより、事業別に細分化して寄付を受けられるようになった。 ○令和 6 年度に「税額控除対象団体」になる為の資料作成・申請を行った。また、寄付金と寄付物品の受付方法を内部で整理した。

(2)福祉募金自動販売機設置事業

①自販機の設置台数 18 台（＋3 台）
②赤い羽根共同募金（令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月まで）への寄付　105,742 円
③社会福祉協議会（令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月まで）への寄付　　206,653 円

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○令和 4 年度、取扱い業者が変更となり、10 台まで減少した。 ○令和 5 年度から令和 6 年度の 2 カ年で、新規 7 台の自動販売機を設置することができた。

(3)赤い羽根共同募金(千葉県共同募金会　我孫子市支会)　…10 月 1 日～3 月 31 日まで

①自治会説明会　7 月 19 日～22 日
②災害義援金の募集…「令和６年能登豪雨災害 」: 35,000 円
「令和 6 年能登半島地震災害義援金」: 683,811 円
③共同募金災害見舞金の配布…9 件
④赤い羽根共同募金額　　令和 6 年 10 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

戸別募金	5,300,398 円
法人募金	575,698 円
学校募金	232,540 円
職域募金	267,785 円
イベント募金	39,675 円
個人募金他	570,671 円
合　　計	6,986,767 円

第6次地域福祉活動計画（R4年度～R8年度）の進捗状況　〔3年度目〕
○令和4年度に市内の企業調査を行い、募金依頼企業の拡大を図ることができた。 ○コロナ禍以降、より募金額が減少していたが、令和6年度は前年度比299,748円の増額となった。 ○自治会に募金の使い道を説明したが、直接的な還元がないことから、協力的にはなれないとのご意見もあった。

（4）歳末たすけあい募金（千葉県共同募金会 我孫子市支会） …12月1日～12月31日まで

①自治会説明会　7月19日～22日

②歳末たすけあい募金額　　令和6年12月1日～12月31日

戸別募金	3,025,994円
法人募金	848,123円
街頭募金	216,642円
個人募金	35,736円
合計	4,126,495円

③歳末たすけあい配分事業

○高齢者関連

・独居高齢者への慰問年賀状（小学生からの年賀状）　1,076名

○障がい児者関連

・地域生活支援事業への助成金　3団体

○児童青少年関連

・交通遺児世帯への見舞金　1世帯

・施設入所児への見舞金　23名

○住民全般関連

・要保護世帯への見舞金　38世帯

・当時者団体活動助成金　2団体

・福祉団体活動助成金　4団体

・子ども会・育成会及び老人クラブ活動助成金　13団体

○安全・安心

・防災・減災活動への取り組み

第6次地域福祉活動計画（R4年度～R8年度）の進捗状況　〔3年度目〕
○令和5年度に、大きく助成金交付について見直しを図った。 ○自治会の協力減少が戸別募金の減少に大きく影響を及ぼしている。 ○新型コロナウィルス感染症の５類移行にともない、街頭募金件数は増加傾向。 ○助成金申請の簡略化を行い、インターネットからでも申請が可能となった。 ○募金額は、コロナ禍後より少しずつ増加傾向で、令和6年度は前年比95,988円の増額となった。

(5)たすけあいバンク事業(たすけあいバンク我孫子)

①寄付件数　174 件　/　寄付量　995.8kg（食品/785.9kg、家庭用品/209.94kg）
②支援件数　 76 件　/　支援量　279.13kg
③相談・仲介件数　28 件
④歳末フードパントリー　　67 世帯に配布　298kg
⑤子ども食堂ネットワークへ譲渡　　179.5kg
⑥高齢者施設へ大人用オムツ譲渡　　20kg

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○我孫子市子ども食堂ネットワークと連携できた。 ○高齢者施設や行政機関からも依頼があり、必要に応じて対応した。 ○さまざまな媒体で広報を行ったことで、譲渡件数も増加している。

６、地域共生社会の推進

(1)福祉ショップ＆軽喫茶ぽぽら

①来客数：10,941 人
②軽喫茶ぽぽらの売上金額：10,067,845 円
③福祉ショップの販売契約件数：37 件（福祉施設 34 件、福祉団体 3 件）
④福祉ショップの売上金額：203,487 円（福祉施設の販売手数料分）
⑤自動販売機設置の売上金額：843,313 円
⑥地域共生社会に向けた啓発運動
・認知症の理解を勧める運動（9 月：オレンジリング）
・乳がんの正しい知識を広め検診の早期受診を推進する運動（10 月：ピンクリボン）
・女性に対する暴力をなくす運動（11 月：パープルリボン）
・障がいを持つ人の自立と社会参加を願う運動（12 月：イエローリボン）
⑦実習生の受入：千葉県立特別支援学校流山高等学園 1 名の職場体験実習（4 日間）

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○新しく令和 4 年度より、「リボン活動等の啓発」を実施、令和 6 年度に「カタログ販売」を実施した。 ○バリアフリーの喫茶店を駅近で開設することで、地域の人々に交流の場を提供することができた。 ○東葛地区の障がい者福祉施設と連携して福祉ショップで販売することで、地域の人々に障がい者福祉施設を知るきっかけづくりを行った。 ○実習生の職場体験は、特別支援学校と相談の上、本人の適正や能力に合った作業が提供できるように配慮できた。 ○休日を利用し、難聴、高次脳機能障害を抱える方を対象とした当事者カフェ開催のための場所の提供を行うことで、当事者同士の地域交流に貢献した。

(2)集いの場コミュニティカフェ事業

○高次脳機能障がいカフェ lieto(リエット)

①実施回数　12 回（毎月 1 回）

②参加者数　延べ 90 名　当事者 35 名　ボランティア 55 名

③広報紙 lieto NEWS　12 回発行

○スマホ教室(スマ café)（市委託事業）

60 歳以上の高齢者に対して、スマホの教室を開催しました。

①実施回数　39 回

②参加者数　延べ 304 名

・LINE の使い方講座　　8 回　62 名　・PayPay 講座　　5 回　26 名

・地図・乗換案内講座　4 回　33 名　・タクシーGo・地図実践講座　4 回　39 名

・Google 検索講座　　4 回　33 名　・基本操作講座　8 回　51 名

・スマホの学校 11 月　4 回　28 名

・出張スマ caféLINE 講座　2 回各 16 名（青山台見守りあいネット）

○中途失聴者･難聴者の集いの場(Café つぼみ)

中途失聴、難聴の方を対象に令和 6 年 4 月より開始。

①実施回数　11 回

②参加者数　延べ 133 名

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○リエットについては、参加者から家族会の紹介をいただく等、当事者間でのつながりを作ることができた。 ○令和 6 年度に中途失聴、難聴の方を対象として、Café つぼみをオープンした。 ○スマ cafe は大盛況で、ほぼ毎回定員を超える申し込みをいただいた。 ○参加者に直接伺ったり、定期的にアンケートを実施する等で、参加者のニーズを聞き取り、以降の企画に反映させることができた。

(3)第 41 回あびこ福祉まつり(参画事業)

①実行委員会へ参画。会議への参加　4 回

②開催日　5 月 11 日（土）　来場者数　約 2,500 人

③参画団体数　17 団体

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○コロナ禍以降、規模を縮小しての開催となっている。

(4)第 12 回ホップステップふれあいキャンプ(参画事業)

①実行委員へ参画。会議への参加　5 回

②ボランティア交流会（ピザづくり・レクリエーション）　6 月 16 日（日）　アビスタ

参加者 3 名　ボランティア 14 名　実行委員 11 名　　延べ 28 名

③9 月 15 日（日）～16 日（月・祝）1 泊 2 日で開催。東武動物公園・佐倉草笛の丘

参加者 10 名　ボランティア 20 名　　実行委員 12 名　職員 2 名　延べ 44 名

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○野外活動を通じて、障がい者とボランティアの交流を深めることができた。 ○助成金の申請を行ったことで、参加費用の個人負担を軽減することができた。

(5)第 11 回 JOY！JOY！クリスマス会(参画事業)

①実行委員へ参画。会議への参加　5 回

②開催日　12 月 7 日(土)　午前の部、午後の部 2 回開催

参加者:子ども 22 名、障がい児者 10 名、大人 11 名　ボランティア 10 名　　延べ 53 名

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○障がいを抱えている子もそうでない子も、分け隔てなく広く参加を呼び掛けることで、障がいの有無にとらわれない、地域共生社会の推進に寄与した。

(6)第 17 回あびこカッパまつり(参画事業)

①実行委員へ参画。会議への参加　13 回

②開催日　8 月 31 日（土）　※台風接により縮小開催　来場者数　約 2,000 名

③ボランティア派遣人数　0 名　※縮小開催の為、派遣中止

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○ボランティア派遣人数は実行委員によって定員数が設けられているため、令和 5 年度目標数値 30 名を下回っているが、実行委員より依頼があったボランティアの人数は派遣できた。 ○にじプログラムなど、他事業からの働きかけで興味を持たれる方もいた。

7、安心して暮らせるまちへ

(1)住民参加型助け合いの会 あい･あびこ

①利用会員数　67 名
②協力会員数　31 名
③利用（提供）回数　1,820 回
④利用（提供）時間　1,424 時間（家事サポート 1,347 時間、寄り添いサポート 109 時間、ゴミ出しサポート 46 時間（184 回)、ちょこっとその他サービス 57 時間)
⑥代筆・代読件数　32 件

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○利用会員は増加傾向である。稀にご本人からの相談はあるが、基本的にはケアマネージャーからの問い合わせから利用に繋がるケースが多かった。 ○ヘルパーでは対応の難しい家具の移動や電球交換などに対応し、利用会員から喜ばれている。 ○天王台地区社協で実施している「ごみ出し支援」との連携ができた。

(2)移送サービス事業

令和 6 年度に、年会費 1200 円と立ち寄り料金 250 円（10 分以内）を導入した。
①利用会員　125 名
②運転ボランティア数　10 名
③移送件数　1,550 件（うち運転ボランティア派遣 100 件)
④貸出件数　　福祉車両 17 件　ワゴン車 13 件
⑤福祉車両（車イス）1 台、セダン車両 4 台、ワゴン車 1 台（貸出のみ）を利用

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○人件費や燃料費等の増加による経費増加が課題、また、運転ボランティアの担い手不足も課題としてあげられる。 ○介護タクシーや福祉タクシーよりも安価で利用できることから、利用件数は目標を大きく上回り、今後も更なる需要が見込まれている。 ○移送サービスを実施していた NPO 法人が解散したことで、通院や社会参加が難しくなってしまった地域高齢者に対して、受け皿となることができた。

(3)車イス等貸出事業

①貸出件数　74 件　②延べ貸出台数　77 台

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○貸出件数が増えてきている。

(4)あんしんカード配布事業

①配布本数　645 セット（総配布数 26,580 セット）
（民生委員配布分 422 セット、個人配布分：21 セット、自治会配布分：202 セット）
②配布協力自治会数　95 自治会（＋2 自治会）

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○新しいパンフレットの作成が遅れている。 ○令和 6 年度の自治会説明会で事業についての説明、周知を行ったところ、未導入の 2 自治会が導入いただいた。

(5)我孫子市結婚相談所

・開設時間の短縮（1 日－2 時間）
・手数料の変更（年会費の値上げ、登録・更新手数料の廃止）
・平日の婚活イベントへのご要望に応え、2 回を開催
・開設日 94 日（第 1･3 土曜、第 2･4 日曜、隔週火・水曜日）
①登録会員 109 名（男性 75 名、女性 34 名）※新規者 27 名
②相談件数 127 件
③お見合い件数 74 件
④成婚数 1 組　※現在交際中 12 組
⑤婚活イベント開催回数　延べ 15 回　延べ参加人数 226 名

・日本官婚推進協会共催事業 2 回	34 名
・ミドル婚活	20 名
・大人の婚活	8 名
・あび恋喫茶	18 名
・七夕婚活	19 名
・夏の婚活パーティー	13 名
・手賀沼花火大会鑑賞会	5 組 10 名
・ハロウィン婚活	11 名
・秋の婚活ティーパーティー	12 名
・クリスマス婚活パーティー　3 回	55 名
・新春婚活 2025	15 名
・春の婚活ティーパーティー	11 名

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○令和 6 年度からの補助金廃止に伴い、相談時間の縮小や利用料の値上げを実施した。 ○出会いの場提供として婚活イベントを数多く開催し、成婚には至らないものの、数多くのカップルを成立させることができた。 ○イベントの参加者からは「とても良い企画だった」、「また参加したい」等の声をいただくことができた。 ○LINE を活用するなど、工夫をしたが会員の増加には繋がらなかった。

(6)高齢社会への対応を探る会(参画事業)

①定例会開催数　　12 回

②イベント開催数　 2 回

・10 月 19 日　講演会「在宅医療と介護の連携について考える」　参加者　144 名

・2 月 21 日　　上映会　「みとりし」　参加者　466 名

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○イベントの開催は、コロナ禍前に戻りつつある。 ○地域高齢者の困りごとを、市の関係各課へ伝えた。

(7)災害ボランティアセンター事業

・4 月 28 日～5 月 4 日　被災地 石川県穴水町へ職員 1 名派遣

・11 月 16 日　我孫子市総合防災訓練に参加

・1 月 19 日　災害時社協職員初動訓練

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○令和 4 年度から災害ボランティアセンター立上げ訓練や初動訓練を実施。 ○被災した地域があれば職員の派遣を行うように調整をした。能登半島地震の災害ボランティアセンターへ職員を１名派遣した。

８、自立した生活の支援

(1)あびこ後見支援センター

①成年後見制度に関する相談（専門員による相談）

・相談件数 228 件（実人数 61 名）

・主な相談内容…後見申し立て／法人後見／遺言／弁護士相談の問合せ／制度など

②弁護士相談（毎月第 4 金曜日　予約制 3 名枠）

・実施日 12 日　相談件数 31 件

③法人後見運営委員会 3 回（6 月 27 日、10 月 10 日、2 月 13 日）

④法人後見の受任

・担当職員数　専門員 5 名

・本年度新規受任：6 件

・現受任件数：法定後見 21 件（後見類型 11 件　保佐類型 5 件　補助類型 5 件）
（高齢者 11 名　知的障害 6 名　精神障害 4 名）
任意後見 2 件

（センター設置（平成 27 年度）以降、延べ受任件数：28 件）

⑤広報啓発（説明会など）

・8 月 27 日　自閉症協会　「あびこ後見支援センターについて」12 名

・9 月 27 日　市民後見人養成講座　「あびこ後見支援センターについて」15 名

・2 月 4 日　けやき社会センター　「成年後見について・親亡き後の問題」30 名

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○受任件数が伸び、令和 5 年度に担当職員を増員した。 ○市役所各課や専門職から受任依頼が増えてきており、連携して対応した。 ○後見制度の概要や申し立て、不動産売却、身元保証、遺産相続についての相談が増えており、専門職へつなぎも増えているが職員のスキルアップが必要。 ○令和 8 年度の中核機関設置に向けて、社会福祉課、高齢者支援課、障害者支援課と協議を行った。

(2)日常生活自立支援事業(県社協委託事業)

①新規相談件数 31 件

相談・訪問調査等のべ回数 167 回（うち訪問調査件数 26 件）

②福祉サービス利用者　36 名（34 世帯）（生活保護受給者 24 名、23 世帯）

内訳 1)財産管理サービス：36 名

財産保全サービス：2 名（重複あり）

内訳 2)

月別利用状況	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
高齢者	19 名	18 名	19 名	19 名	19 名	20 名
身体障がい者	3 名	3 名	2 名	2 名	2 名	2 名
精神障がい者	5 名	5 名	5 名	6 名	6 名	6 名
知的障がい者	5 名	5 名	5 名	5 名	5 名	5 名
重複（身体・知的）	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
その他	3 名	3 名	4 名	4 名	4 名	3 名
新規利用者			2 名	1 名		1 名
解約者		1 名	1 名			1 名
合計利用者数	36 名	35 名	36 名	37 名	37 名	37 名

月別利用状況	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
高齢者	20 名	19 名	19 名	19 名	19 名	19 名
身体障がい者	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名
精神障がい者	5 名	5 名	5 名	5 名	5 名	6 名
知的障がい者	5 名	5 名	5 名	5 名	5 名	5 名
重複(身体・知的)	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
その他 ※	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名
新規利用者				1 名		2 名
解約者	2 名	1 名		1 名		1 名
合計利用者数	35 名	34 名	34 名	34 名	34 名	35 名

※その他とは、精神的に不安定である方や金銭管理が著しく難しい方など

・担当職員数　専門員 5 名（対応件数：5 名)、
生活支援員：9 名(対応件数:39 名)／生活支援員登録者 0 名

③支援回数 631 回

④解約件数 8 名　新規利用者数 7 名

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○新規相談件数は、年 30 件前後で推移しており、主に市役所の福祉関係課、市内居宅介護支援事業所等からの紹介が多い。 ○認知症高齢者や身体障がい者のみならず、知的や精神障がいを抱える方の利用も増えてきている。

(3)日常生活自立支援事業（独自事業）

日常生活自立支援事業を申請中の方、一時的な支援を要する方を対象に、令和6年4月より事業開始した。

①新規相談件数4件　※相談・訪問調査等のべ回数23回（うち訪問調査回数4回）

②契約件数2名

③支援回数7回

④支援終了件数2名

第6次地域福祉活動計画（R4年度～R8年度）の進捗状況　〔3年度目〕
○日常生活自立支援事業申請中であるがすぐに支援が必要な方、一時的に支援が必要な方等のニーズに対応するため、県社協委託事業とは別に、日常生活自立支援事業（独自事業）を令和6年4月より開始した。

(4)あんしん生活支援事業の検討･実施

社会福祉課、葬儀会社と具体的な事業内容について協議を重ね、要綱・様式の整備を実施。令和7年度からの事業開始に向けて調整を行った。

・検討会議　15回

・市との協議 4回

第6次地域福祉活動計画（R4年度～R8年度）の進捗状況　〔3年度目〕
○「入院や施設入所の際、身元保証人となってくれる人がいない」、「遺言書の作成や自身が亡くなった後の死後事務について」等の相談の問い合わせが増えてきている。家族・親族関係が希薄となってきている中で、身寄りのない方や身内に支援可能な関係者のいない方は不安を感じている。

(5)生活福祉資金貸付事業(県社協委託事業)

①相談件数　　69件　②申請件数　12件

③貸付決定件数　7件　④貸付金額 4,120,000円

緊急小口等特例貸付に係る債権管理事務　※コロナ特例貸付(令和2年～4年)

①債務件数　1,098件（令和2年～4年までの延べ貸付件数）

償還件数　528件　／償還猶予件数　24件　／償還免除件数　385件

②相談支援件数　　291件

電話・来所件数　191件　／連絡・訪問・その他件数1,843件

第6次地域福祉活動計画（R4年度～R8年度）の進捗状況　〔3年度目〕
○貸付を必要とする世帯、償還が困難な世帯への支援を行った。 ○特例貸付により支援の対象となる世帯が増えたため、相談・支援体制を強化した。 ○ホームページ等で情報を得て問い合わせをしてきた方もいるため、ある程度PR効果が伺えた。 ○市役所との連携、社協の他の事業（日常生活自立支援事業、おたすけバンク）などとの連携の仕組みづくりができた。

(6)善意銀行 小口貸付事業

①相談件数　116 件
②貸付件数　81 件
③貸付金額　4,097,000 円
④償還率　　81.2%

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○相談に即時対応できるよう職員の相談体制を強化した。 ○関係機関とより一層の連携強化を図り、他制度の案内等適切な対応を行った。 ○職員体制の強化により、償還支援も丁寧に対応でき償還率が向上している。

(7)各種見舞金配布事業

①災害見舞金　社会福祉協議会配布件数 9 件　見舞金額　220,000 円
　　共同募金会　　配布件数 9 件　見舞金額　 73,000 円
②交通遺児見舞金・新入学祝金　配布件数 1 件　見舞金額　22,000 円
③生活困窮世帯見舞金　配布件数 18 件　見舞金額　　332,000 円
④施設入所児見舞金　　配布件数 23 件　見舞金額　　460,000 円

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○令和 4 年度に災害見舞金規程を改定した。 ○迅速な対応が求められることから、共同募金事務費からの立替による出金が多くなり、予算とのバランスが難しい。 ○火災による災害見舞金申請の場合、消防から社会福祉課、社会福祉課から社協のプロセスを踏むため、申請者に見舞金をお渡しするまで時間を要する。

9、広報啓発事業・その他

(1)広報･地域福祉情報提供事業

①社協だより「福祉の街へ」
　4 月 23,000 部　　7 月 22,000 部　　10 月 23,000 部　　1 月 23,000 部
②市民向けの「社協のしおり」10 月に修正版を 2,000 部発行
③広告収入　40,000 円（4 枠）

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○令和 5 年度に広告掲載取扱規程を整備、令和 6 年度から実施する。 ○定期的に研修に参加し、職員のスキルアップを図った。 ○「社協のしおり」は、修正版を毎年発行し内容の更新に努めた。

(2)ホームページ情報提供事業

①閲覧回数 38,120 件

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○タイムリーな情報提供は、積極的に更新できた。 ○社協のしおり発行に合わせて事業ごとに掲載内容を見直し、適宜修正をすることで「見やすいホームページ」づくりを行った。 ○情報内容について、広報誌とホームページで整合性がとれているよう管理することで、閲覧される方が混乱されることがないよう務めた。

(3)西部福祉センター(市指定管理事業) ※指定管理期間：令和 4 年度～令和 6 年度

・体操、スマホ・パソコン相談、折り紙教室、手芸教室などを実施。
・西部福祉センターまつり、e スポーツ体験会、スマートホーム体験会、地元の太鼓団体の演奏会を実施。
・延べ利用者数　21,298 名
　①老人福祉センター　20,323 名
　②地域福祉センター（＝ボランティア室）975 名

第 6 次地域福祉活動計画（R4 年度～R8 年度)の進捗状況　〔3 年度目〕
○様々な感染症に留意し、利用者の健康に配慮した。 ○軽度認知症の方が増えており、高齢者なんでも相談室や家族との連携を密にした。 ○様々な講座を実施できた。(定期開催) ○令和 5 年度よりパソコンやスマホ相談を月 6～8 回実施し、好評をいただいた。 ○利用者満足度アンケート 127 件回答中、とても良い、良い、の回答が合計で 101 件であった。 ○現在利用されている方からの希望を受け、今後も同様のサービスが受けられるよう、他施設の紹介を行った。 ○令和 7 年 3 月をもって事業終了となるため、市と協議を繰り返し終了までの準備、備品等の確認・整理をした。

以上

令和６年度　事業報告付属明細書

令和６年度事業報告には、社会福祉法施行規則第２条の２５項３項に規定する付属明細書（事業報告の内容を補足する重要な事項）は、存在しませんので作成致しません。

令和７年５月１５日

社会福祉法人

我孫子市社会福祉協議会

会　長　鈴　木　壽　幸